

「イグ・ノーベル賞」生みの親が来日

「イグ・ノーベル賞」って知ってますか？ アメリカで10月のノーベル賞発表より一足早く、「人を笑わせ、そして考えさせる成果」に贈られます。日本人が今年も含め12年連続で受賞したことで有名です。

この賞の生みの親で、遊び心と笑いに満ちた授賞式の司会を務めるマーク・エイブラハムズさんが、9月に始まった賞の展覧会に合わせて東京を訪れました。インタビューに応じたエイブラハムズさんは、子どもたちに「やんちゃして」と呼びかけます。少しくらい羽目を外した方がいろいろと学べるし、勇気をもってやりたいことができるようになるといいます。

アメリカのボストンで育ったエイブラハムズさん自身、変わった子だったそうです。10歳のころには、きみような出来事を伝える新聞の小さな記事が気になり、集めて本を作っていました。風変わりな研究を集めた雑誌を発行したり、イグ・ノーベル賞を贈ったりする今の活動と同じようなことを、子どものころからやってきたといいます。

イグ・ノーベル賞は、日本とイギリスの受賞が多

勇気もってやりたいことを



「おもしろいから」と消火器を横においてインタビューに応じるマーク・エイブラハムズさん＝9月21日、東京都文京区

いそうです。その理由について「変わった人を否定しないで、みんなで愛する風土があるからじゃないか」と話します。

これまで28年の間に、たくさんの風変わりだけど面白い成果を世の中に紹介してきました。そうした成果があることを知って「こんなことをやってみたい、やってみよう、と思ってほしい」と語りました。

犬語翻訳機など日本人の受賞多数

「イグ・ノーベル賞」は「ノーベル賞」と、英語で「不名誉な、下品な」という意味の「イグ・ノーブル」を合わせて作った名前です。

毎年10部門の成果が発表され、日本人の受賞はカラオケや、犬語の翻訳機「パウリンガル」の発明、バナナの皮がすべりやすいことの証明、体を曲げて両足の間から「股のぞき」をすると景色の距離がちがって見える研究など、さまざま。

今年は座った姿勢で自分で試した大腸内

視鏡検査が選ばれました。これまでの受賞成果を紹介する世界初の公式展覧会が、11月4日まで東京で開かれています。

授賞式にはノーベル賞の受賞者も参加します。イグ・ノーベル賞の受賞スピーチは多くが笑いをさそいますが、1分を超えると「たいくつなの」と女の子が止めに来ます。マーク・エイブラハムズさんによると、学校で長い話を聞かされた苦い思い出があり、短くしたということです。

名前【 】

①「イグ・ノーベル賞」は、どこの国で発表されますか？

②「イグ・ノーベル賞」はどんな成果におられますか？

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 成 果 | |

③この賞の生みの親の名前を書きましょう。

④日本人が受賞したものを、二つ書きましょう。



2002年にイグ・ノーベル賞を受賞した犬語翻訳機「パウリンガル」(©TOMY)

NIEワークシート
小学中学年～中学生／総合、朝NIE